

厚田の冬

また厚田の冬がやって来ました。

毎年、4月5月はぼかぼかと柔らかな日差しを感じながら、これから楽しいことをたくさんするぞと期待に胸を弾ませていたのですが、何も出来ないうちになんだか秋が終わった感じです。そしてまた冬。どうせなら体を慣らすように、やわらかな太陽の光が反射してキラキラと光る雪があたりを包み込み、ゆっくりと少しずつ冬の季節が始まっていく。。という感じなら良いのですが、そんな考えを木端微塵にするかのように、突然の大雪、強風、猛吹雪で恐怖のどん底に叩き落とすかのような厚田の冬の始まりです。12月でこの調子ですので、1月、2月はどうなることやら。。と悲観ばかりしても始まりません。

冬でも今まで良い体験をたくさんしてきました。一例を申し上げますと、まずは冬の運転技術の向上。。私ももはや17～8年厚田に通わせていただき、確かに少しぐらいの吹雪との闘いなら勝てる自信がつかしました。自慢するわけではないですが、車のボンネットも見えない吹雪の中でもどこかに道路の手がかりを探して、恐怖と闘いながらどうにか車を前に進ませることが出来るようになったかもしれません(まだ言い切れません)。次に除雪機の使い方を覚えました。。私の育ちのなかで除雪機の操作など必要としたことは一度もありませんでした。家が貧乏だったものですからいつも体力勝負でした。除雪機は感動です！最後に、もう7年ほど前の話しになりますが、職員の車が近くの道路で埋まってしまい、私は救助隊として勇猛果敢に猛吹雪のなかを出発しました。目も開けられない吹雪のなかどうしたことが咳が止まらなくなり、園に戻ってから強烈な咳がつづきました。もしや、と思い呼吸器内科を受診したところ予想した通り喘息の発作でした。私はなんと喘息持ちだったのです。厚田の冬が、私の持病を教えてくれたのです。感動でした！！しかし振り返って考えてみると、小学校4年生の時、大学の時、そしてはまなす園に入ってから3年くらい経った時、咳が止まらなくなった時があった。。なぜその時気づかなかったのか。。厚田の冬もまんざらでもないぞというエピソードの一例でした。また今日も帰り道のどこかで吹雪が待ち構えているのだろう。今年も春まで厚田の冬に付き合ってやるか。。

